

一般社団法人日本聴覚医学会  
第10回耳管開放症研究会プログラム

日時 令和7年7月3日(木) 13:00より  
会場 名古屋国際センター 5F 第1会議室  
〒450-0001 名古屋市中村区那古野一丁目47-1  
TEL 052-581-0100

会費 3,000円

代表世話人 大島猛史(日本大学耳鼻咽喉・頭頸部外科)

担当世話人 吉岡哲志(藤田医科大学耳鼻咽喉科頭頸部外科)

開会の辞 吉岡哲志(藤田医科大学耳鼻咽喉科頭頸部外科)

一般演題

第1群 症例(13:10~13:40) 座長 菊地俊晶(仙台駅北口耳鼻咽喉科)

1. 耳管開放症症状を呈した軟口蓋ミオクロームスの長期経過

稲垣 彰<sup>1)2)</sup>, 南方寿哉<sup>2)</sup>, 岩崎真一<sup>2)</sup>

1) 豊橋サージクリニク

2) 名古屋市立大学大学院耳鼻咽喉・頭頸部外科

2. 三叉神経ブロックによる耳管開放症例

小林泰輔, 甲斐成彦, 兵頭 純, 高橋宏尚, 暁 清文

鷹の子病院耳鼻咽喉科

3. 水中内視鏡下 plugging を施行した上半規管裂隙症候群29例からみた耳管開放症の診断

川村善宣<sup>1)2)5)</sup>, 舘田 勝<sup>1)</sup>, 野村有理<sup>2)</sup>, 野村和弘<sup>2)</sup>, 小林俊光<sup>2)</sup>, 大島英敏<sup>3)</sup>,

大島猛史<sup>3)</sup>, 池田怜吉<sup>4)</sup>, 本藏陽平<sup>5)</sup>, 川瀬哲明<sup>5)</sup>, 香取幸夫<sup>5)</sup>

1) 仙台医療センター耳鼻咽喉科・頭頸部外科

2) 仙塩利府病院耳科手術センター

3) 日本大学耳鼻咽喉・頭頸部外科

4) 岩手医科大学耳鼻咽喉科頭頸部外科

5) 東北大学耳鼻咽喉・頭頸部外科

第2群 検査・診断(13:45~14:15) 座長 稲垣 彰(豊橋サージクリニク)

1. 耳管開放症確実例の臨床的特徴

大島英敏<sup>1)</sup>, 新藤秀史<sup>1)</sup>, 吉田まりん<sup>1)</sup>, 平井良治<sup>1)2)</sup>, 大島猛史<sup>1)</sup>

1) 日本大学医学部耳鼻咽喉・頭頸部外科

2) 末広町ヒライ耳鼻咽喉科

2. 耳管開放症診断における運動負荷の有用性の検討  
荒井真木<sup>1)</sup>, 水田邦博<sup>1)</sup>, 吉見亘弘<sup>1)</sup>, 遠藤志織<sup>2)</sup>
  - 1) 浜松医療センター耳鼻いんこう科・中耳手術センター
  - 2) 静岡済生会総合病院耳鼻咽喉科中耳手術・耳管センター
  
3. 発話時の耳管機能評価の試み  
坂田俊文, 妻鳥敬一郎, 西 龍郎  
福岡大学耳鼻咽喉科

第3群 手術 (14:20~14:50) 座長 池田怜吉 (岩手医科大学)

1. 9号ピン耳管咽頭口脱落症例の報告  
大田重人, 河野修二, 西村理宇, 都築建三  
兵庫医科大学耳鼻咽喉科・頭頸部外科
  
2. 耳管WG 鼻すすり真珠腫に関する全国調査 経過のご報告  
遠藤志織, 水田邦博, 小林俊光, 耳管ワーキンググループ (WG)  
報告 遠藤志織 (静岡済生会総合病院)
  
3. 耳管ピン手術をより容易にするための工夫と困難例の報告  
守田雅弘  
守田耳鼻咽喉科大阪駅前耳管クリニック

~~~~休憩~~~~

シンポジウム<領域講習> 「耳管ピン手術 私はこうしている」 (15:20~16:30)  
司会 小林俊光 (仙塩利府病院)

全国アンケート調査結果報告 吉岡哲志 (藤田医科大学)

- 演者1 平井良治 (末広町ヒライ耳鼻咽喉科) ハイボリュームセンタの立場から  
演者2 吉田晴郎 (長崎医療センター) 市中病院の立場から  
演者3 岡本昌之 (福井大学) 大学病院の立場から  
演者4 増田正次 (杏林大学) 大学病院の立場から

閉会の辞 大島猛史 (日本大学耳鼻咽喉・頭頸部外科)